

## 第51回人類働態学会全国大会のご案内

下記の通り、第51 回人類働態学会全国大会を開催いたします。多くの会員および、関係の皆さまのご参加をお願い申し上げます。

期日：2016年6月11日(土)、12日(日)

会場：富山大学 五福キャンパス

共通教育棟 1階 C13 教室(次ページ参照)

富山県富山市五福 3190 番地

<http://www.u-toyama.ac.jp/access/gofuku/index.html>

大会長、事務局：河原雅典(富山大学芸術文化学部)

Tel:0766-26-4068

E-mail:humanergology51@gmail.com

会費(当日支払のみ):

大会参加費 4,000 円(学生 2,000 円)

懇親会費 3,000 円(学生 1,000 円)

### 1. 大会スケジュール概要

#### 6月11日(土) 第51回大会1日目

11:30 受付開始

12:00 理事会(C12 教室)

12:55 開会

13:00 口頭発表

14:45 特別講演『富山のものづくり』

16:00 シンポジウム『歩いて暮らせるまちづくり: 富山大学歩行圏コミュニティ研究会の取り組み』

18:00 懇親会(富山大学生協本店食堂)

#### 6月12日(日) 第51回大会2日目

9:00 口頭発表

12:30 総会

13:30 緊急企画

『災害に対して人類働態学ができること』

15:10 表彰式、閉会

### 2. 参加予定の方へ

★大会参加は当日登録も歓迎いたします。しかし、懇親会などの利用参加人数を把握する必要がありますので、参加ご予約の方は以下の事項について、できるだけ事前の早い時期にご連絡(メール)をくださいませうお願いいたします。

メール連絡先:humanergology51@gmail.com

<登録事項>

・氏名、所属、連絡先(電子メールアドレス、電話番号)

・一般/学生の別

・懇親会の参加/不参加

★参加費等の支払いは大会当日のみとなります。

### 3. 発表について

#### ★英文抄録について

大会当日までに英文抄録(200word 程度, JHE 掲載用)を大会事務局へご提出ください。書式は英文 abstract 用のテンプレートファイルにしたがってください。テンプレートファイルは発表者に E-mail で送付します。

提出ファイルは、大会当日までに E-mail で送付いただくか、大会当日に受付まで USB メモリでご持参ください。

#### ★口頭発表について

・口頭発表時間は 1 演題 15 分間(発表 12 分, 質疑 2 分, 交代 1 分)です。

・発表形式は PC のみとさせていただきますので、原則としてプレゼンテーション用ファイルを保存した USB ファイルをご持参ください。

※パソコンは Windows7 版, ソフトは PowerPoint2013 をご用意いたします。

※舞台上にはレーザーポインタのみ用意します。

※会場設置のプロジェクターの接続端子は、ミニ D-Sub15pin(オス)です。

※Mac など異種端子の PC をお持ちの方は、必ず接続アダプターをご持参ください。

※Mac のパソコン, その他のソフト使用のご希望がある場合は各自ご用意いただくとともに、発表セッション前までに受付にお申し出ください。

・発表手順

①各セッションの開始前までに、USB ファイルに入れた発表用ファイルをパソコンにご準備ください。

②前演題の発表時には、会場前方の次演者席に着席してください。

※円滑な進行にご協力をお願いいたします。

### 4. アクセスについて

#### ◆ JR 富山駅から市内電車利用(約 20 分)

JR 富山駅南口から市内電車「富山駅」停留所が直結しています。そこから富山地鉄・市内電車 2 系統(大学前行)に乗りしてください。15 分で終点大学前に到着します。停留所から徒歩約 5 分です。

◆ JR 富山駅からバス利用(約 20 分)

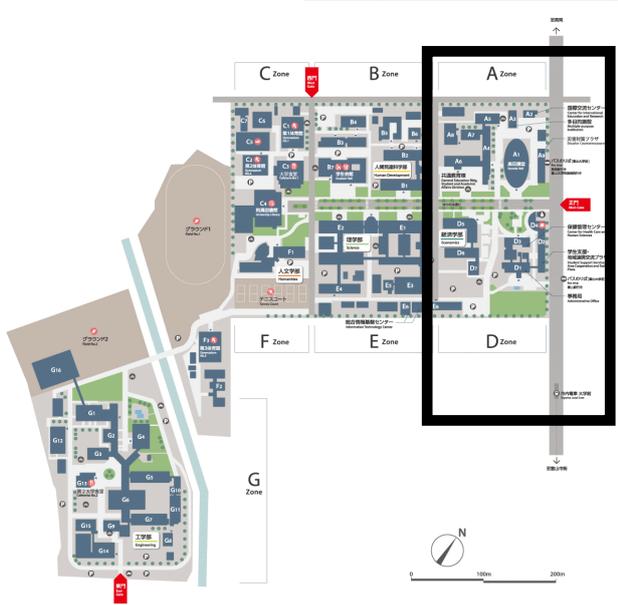
JR 富山駅南口バスターミナル 3 番のりばで富山地铁・路線バス「富山大学前経由」に乗車してください。約 20 分で「富山大学前」バス停に到着します。

◆ タクシー利用

タクシー利用の場合、JR 富山駅から約 15 分、富山空港から約 20 分です。

詳しくは大学ホームページをご覧ください。

<https://www.u-toyama.ac.jp/access/gofuku/index.html#how-to-access>



←この部分を  
拡大したもの

市内電車 大学前

# 第51回人類動態学会全国大会 プログラム

## 全体構成

	午前	昼	午後	夜
6月11日 (土)	受付 11:30-	理事会 12:00-12:50	開会 12:55- セッション1 13:00-14:30 特別講演 14:45-15:45 シンポジウム 16:00-17:30	懇親会 18:00-19:30
6月12日 (日)	セッション2 9:00-10:00 セッション3 10:10-11:10 セッション4 11:20-12:20	総会 12:30-13:15	緊急企画 13:30-15:00 表彰式・閉会 15:10-	

## 全国大会1日目 6月11日(土)

富山大学 五福キャンパス共通教育棟 1階 C13 教室

11:30- 受付開始

12:55-13:00 ■開会 大会長 河原雅典

13:00-14:30 ■セッション1

座長:山岡俊樹 / 京都女子大学

1-1. 高齢者の自転車乗車時におけるふらつき

○谷田貝一男 / 日本自転車普及協会 自転車文化センター

1-2. 自転車歩行者道における標識デザインとその視認性について

今井駿, ○岡田 明 / 大阪市立大学大学院生活科学研究科

1-3. 自転車用ヘルメットのファッション性に関する大学生の意識

○加藤麻樹・荒木鳳大 1), 下平佳江 2), 御子柴慶治 3) / 1)早稲田大学, 2)長野県短期大学, 3)ライトウエイプロダクツジャパン(株)

1-4. 自転車専用ドライブレコーダー記録データ分析から判った自転車走行の安全性

○堀野定雄 1), 浮穴浩二 2) / 1)神奈川大学工学研究所, 2)UK コンサルタント

1-5. 車いす装着ドライブレコーダーで促進する共生交通対話: 鎌倉の事例

○堀野定雄・小木和孝・佐伯英敏・千一・有山 誠・西 和大 / 鎌倉バリアフリー研究会

1-6. 車いすのティッピングレバー形状が段差乗り上げ操作を行う介助者の筋活動に及ぼす影響

○能登裕子 1), 村木里志 2) / 1)九州大学大学院医学研究院保健学部門, 2)九州大学大学院芸術工学研究院デザイン人間科学部門

14:45-15:45 ■特別講演

講演者: 大熊敏之 / 富山大学

「富山のものづくり」

16:00-17:30 ■シンポジウム

「歩いて暮らせる街づくり: 富山大学歩行圏コミュニティ研究会の取り組み」

中林美奈子 / 富山大学

河原雅典 / 富山大学

鳴尾明子 / 富山大学

高松寛 / 星井町地区長寿会

川添晋 / 三協立山株式会社

18:00-19:30 ■懇親会

富山大学生協本店食堂

## 全国大会2日目 6月12日(日)

富山大学 五福キャンパス共通教育棟 1階 C13 教室

9:00-10:00 ■セッション2

座長:久宗周二 / 高崎経済大学

2-1. ダイバーシティの取組状況に関する組織規模別分析

○岩浅巧 1), 水野基樹 2) / 1)順天堂大学大学院, 2)順天堂大学

2-2. 参加型職場環境改善におけるトレーナー短期研修の役割

○小木和孝・佐野友美 / 公益財団法人大原記念労働科学研究所

2-3. スマートフォン内蔵センサーによるライフログデータの信頼性と応用可能性

○榎原 毅 1), 秋山 知大 2), 松河剛司 3), 山田泰行 4), 庄司直人 1), 山田翔太 1) / 1)名古屋市立大学医学研究科, 2)名古屋市立大学医学部, 3) 愛知工業大学情報科学部, 4) 順天堂大学スポーツ健康科学部

2-4. 労働形態の多様化に伴う非特定作業空間における労働安全衛生上の課題

○松田文子・池上徹 1), 庄司直人・榎原毅 2) / 1)公益財団法人大原記念労働科学研究所, 2)名古屋市立大学

10:10-11:10 ■セッション3

座長:大箸純也 / 近畿大学

3-1. 身体運動の大きさと形を表象する発声音の特徴

○山内直人 1), 篠原和子・田中秀幸 2) / 1)国士舘大学体育学部, 2)東京農工大学大学院工学研究院

3-2. ふるえ疾患(本態性振戦患者)に対するふるえ抑制器(パームサポーター)の評価研究

○坂本和義 1), 井口竹喜・一柳健 2) / 1)電気通信大学 産学官連携センター, 2)菊池製作所 ものづくりメカトロ研究所

3-3. 把持および膝伸展運動における筋張力維持における加齢特性

○水戸和幸・吉田幸哉・白井礼 1), 曾我聡子・太田宣康 2) / 1)電気通信大学, 2)花王株式会社生物科学研究所

3-4. 注視対象の運動特性に応じた身体各部の運動軸の時系列変化

○高橋雄三 / 広島市立大学大学院情報科学研究科

11:20-12:20 ■セッション4

座長:迫秀樹 / 静岡文化芸術大学

4-1. WIB 船内向け自主改善活動での漁船員による改善 作業の負担軽減

○久宗周二 1), 小木和孝 2) / 1)高崎経済大学 経済学部, 2)大原記念労働科学研究所

4-2. 離島でのワーキングホリデーの試み 島根県西ノ島町を例にして

○久宗航太 1), 久宗周二 2) / 1)上智大学 観光研究会, 2)高崎経済大学 経済学部

4-3. 制約条件に基づく発想・思考法

○山岡俊樹 / 京都女子大学家政学部

4-4. 個人情報とその保護の考え方

○大箸純也 / 近畿大学産業理工学部

12:30-13:15 ■総会・昼食

13:30-15:00 ■緊急企画

「災害に対して人類働態学ができること」

司会:河原雅典 / 富山大学

被災者に力を借りる —レジリエンスデザイナー—

○尾方義人 / 九州大学

原発事故の被災地で垣間見た生活者と学術との間の溝

○永幡幸司 / 福島大学

東日本大震災から1年を経過した被災自治体職員のメンタルヘルス

○山田泰行 1,2), 長須美和子 1), 原知之 1), 酒井一博 1) / 1)公益財団法人大原記念労働科学研究所, 2) 順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科

超急性期災害看護の学術的動向と働態学的課題

○庄司直人・榎原毅 / 名古屋市立大学大学院医学研究科

15:10- ■表彰式・閉会 大会長 河原雅典

注:発表者, 連名者の所属名の表記は原則部署を省略してありますので, 抄録に記載の所属番号および所属表記と異なる場合があります。